ギカイダー



集まれ!!未来のファンタジスタ

No.86
令和8年9月議会号
2026年11月

ひおき市議会だより 主な内容

P2 特集 子ども議会
P4 補正予算
P6 まちのきまりが変わりました
P7 陳情のゆくえ
P8 一般質問
P14 所管事務調査・行政視察
P16 決算審査
P18 議員と語る会を開催しました
P19 議員定数等調査特別委員会

過去の市議会だよりはコチラ

令和８年度 子ども議会

特集

こうだったらいいな　ひおき市

～日置市の明日をつくる私たちにできること～



南 奈緒さん
（美山小６年）

子ども達が
たくましくなるために

議長

令和８年７月29日（水）、教育の一環として市内20の小・中・義務教育学校より21名の児童生徒が「子ども議員」として参加しました。議会の模擬体験を通して、議会や市政に関心をもたせ、主権者意識を高めたり、郷土を愛する心を育んだりするとともに、子供たちの自由な意見・提言を今後のまちづくりの参考とし、より良いまちづくりへの参画を促すことを目的として開催されました。



岩井田 颯さん
（日吉学園後期）

受け継ぐ誇り、創る未来
郷土を愛し未来へつなぐ

議長



川畑 爽花さん
（伊作田小６年）

ウミガメが訪れる
江口浜を再び



濱田 かれんさん
（湯田小６年）

少子高齢化解消　住んでみたい魅力ある日置市



松永 芽依さん
（鶴丸小６年）

特産物を日置市の発展に

問 やぼスイカ農家で困っていることは何ですか。
答 大きな問題は、高齢化が進み作る人が減っていることです。県がかごしまの伝統野菜と認めているので未来へ残す手伝いを考えています。



横手 春紀さん
（上市来小６年）

キャンプ場で
地域を元気に



小園 沙和さん
（土橋小６年）

日置市を楽しく
きれいにしよう



内迫 陽喜さん
（伊集院小６年）

まなびのテーマパーク
ひおき

問 こども職場体験の現場で地域通貨『とっぱ』を活用するのは可能でしょうか。
答 こども職場体験などの機会に活用することも可能です。今後は小中学生の皆さんにも地域ポイントの魅力を発信していきます。



馬場 來夢さん
（伊集院北小６年）

事故やけがのない
安心・安全な町に



安藤 百花さん
（永吉小６年）

公園がない永吉地区に
公園をつくろう



今屋 輝志さん
（飯牟礼小６年）

魅力発信と安全な街づくり
みんなが笑顔になる日置市

問 日置市では、新しい観光地や自然の遊び場を増やす計画はありますか。
答 「HIOKIわんぱくキッズDAY」などの新しい体験プログラムを増やすことを検討しています。



内野 美央莉さん
（和田小６年）

わくわくまち自慢マップを
つくろう

問 市内マップ・地域の良さを伝える団体はありますか。
答 自治会や公民館等で地域の魅力を紹介するマップづくりをしています。また、観光協会や商工会、市役所が観光地や特産品を紹介するマップもあります。



池田 稔色さん
（妙円寺小６年）

日置市オリジナル
子ども新聞を

問 広報ひおきに、子ども向けコーナーをつくることは可能でしょうか。
答 皆さんが「子ども記者」になって、学校の魅力を取材し、記事を書く「子ども新聞」のような形にできないか、関係者と話し合い計画していきたいと思います。



成田 彩さん
（日吉学園前期）

空き家の有効活用と
野生動物対策で街づくり

問 空き家について今後予定されている対策は何ですか。
答 使用可能な早い段階で活用につなげることを考え、「空き家バンク制度」を運営しています。空き家改修に補助金を交付する取り組みを行っています。



坂口 ももかさん
（伊作小６年）

吹上浜のごみを減らそう



馬籠 希晴さん
（花田小６年）

ウミガメを助けたい



小園 悠仁さん
（土橋中２年）

日置市PR大作戦

問 住み心地ランキング３位の要因は。
答 交通の利便性・行政サービスなど、８つの調査項目で評価された結果だと考えております。豊かな自然と文化資源も要因と思われます。



桐野 桃花さん
（東市来中３年）

日置市の少子高齢化を
改善するために





稲冨 航太朗さん
（吹上中３年）

スポーツで
よりよいまちづくり

問 市民が主体的にスポーツイベントを企画する仕組みはありますか。
答 市スポーツ協会・スポーツ少年団・公民館等が企画しています。8月に「スポーツパラフェスタ」を開催します。



藤村 夏帆さん
（伊集院北中３年）

妙円寺詣りで知名度、
脱炭素先行地域・日置市

問 脱炭素先行地域の取り組みについて、子どもができることはありますか。
答 妙円寺詣りと脱炭素化をつなげたアイデアは非常にユニークですね。講座などを受講し何ができるかを考え行動することが大切だと思います。



小川 壱輝さん
（伊集院中３年）

リニューアル
日置市チャンネル

問 日置市のSNSアカウントリニューアルを行うことは可能ですか。
答 リニューアルは可能ですが、市が運営するSNSは「大切な情報を届ける」「市の魅力を伝える」目的があります。これからは若い皆さんのアイデアは欠かせないので、一緒に作れたらいいかなと思います。



貴重な意見・提言をありがとうございました。

令和8年9月補正予算 プロスポーツチーム支援による地域活性化を目指す

～歳入・歳出に3億6620万2千円を追加し、総額342億2101万5千円に～

プロスポーツチームの地域振興・活性化事業
2000万円

フラーゴラッド鹿児島の
地域振興・活性化事業に伴う補正

ふるさと納税推進事業費
500万円

ガバメントクラウドファウンディングの
経費に伴う手数料



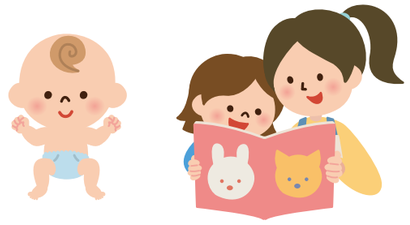
©FIELD-X Inc.

問　プロスポーツチーム地域振興・活性化事業について、補助金の対象としてどのような内容を想定しているのか。
　また、ガバメントクラウドファウンディングにおける目標金額に達しなかった場合、市の負担はあるのか。

答　1つ目は、国内トップリーグのホームゲームを活用した本市のPR及び地域連携事業であり、学校訪問、バレーボール教室等の青少年育成及びスポーツ機会の創出を図る。
　またガバメントクラウドファウンディングについては、現時点では一般財源の補填は考えていない。集まった寄付金から手数料を差し引いた額を事業費の範囲としたい。

出産・子育て応援事業費
53万9千円

令和6年度出産・子育て応援交付金
の精算に伴う補正



問　出産・子育て応援事業費について、出生数の状況について伺う。

答　令和6年度は249人、令和7年度は233人で、減少傾向にある。

児童福祉総務管理費
523万4千円

保育所入所申し込み等手続き
AIOCR※委託事業費



問　事業内容の説明と既定の保育DX事業との関連性について伺う。

答　結果通知を迅速化するために審査等の自動化を行う。また、当初計上分は施設との間のもの。今回は保護者との間のもので別事業である。

※AIOCR…紙の書類や画像に描かれた文字をデジタルテキストに変換する技術（OCR）に、AIを組み合わせて文字認識の精度を高めた技術

エコファンド基金事業費
151万5千円

販売見込みに伴う補正

問　エコファンド基金の積立金について、金額目標と目標に達した際の用途に関する計画はあるのか。

答　当基金は公共施設の省エネ対策などに使う性質のものである。施設の所管課等と連携しながら進めていく形となる。

公営住宅管理費
43万1千円

飯牟礼住宅移転に係る
移転費及び協力費に伴う補正

問　移転する方の飯牟礼住宅の棟数と戸数は。また、現在何世帯が入居しているか。

答　4棟8戸で、現在、7戸7世帯が入居しており、1戸は移転が決定している。

温泉給湯事業特別会計
30万円

給湯管つまり及び
タンク修繕に伴う補正

問　施設維持修繕料の増額について、詳しい説明を伺う。

答　配湯管のスケールの詰まりやタンクの老朽化に伴うものである。

水道事業特別会計
2685万円

漏水修繕等増加に伴う補正

問　漏水対応に係る修繕費は、特定の地区があるのか。

答　特定の地区というのはないが、現在、日吉・吹上地域を重点的に調査しているので、これに伴う費用となる。それ以外でも、市民から連絡があった場合、対応する形になる。

公共下水道事業特別会計
633万8千円

下水道管きょ補修に係る
実施設計に伴う補正

問　企業債の利率見直し等に伴う補正が計上されているが、利率はどう見直されるのか。

答　0.23%から0.88%に見直された。10年ごとに見直しが行われ、平成27年度に借り入れた金融機関分が見直しとなった。

◆令和8年度　一般会計・特別会計（補正予算）賛否表

（予算額は1万円未満切り捨て）

会計名		当初予算額	結果
一般会計補正予算（第2号）		3500万円	全会一致
一般会計補正予算（第3号）		3億3120万円	
特別会計	国民健康保険	15万円	
	温泉給湯事業	42万円	
	介護保険	2億5042万円	
	後期高齢者医療	2万円	

◆公営企業会計（水道事業、下水道事業）

水道	水道事業収益的収入	▲115万円	全会一致
	水道事業収益的支出	1241万円	
	水道事業資本的支出	▲188万円	
下水道	下水道事業収益的支出	262万円	
	下水道事業資本的支出	2110万円	

まちのきまりが変わりました

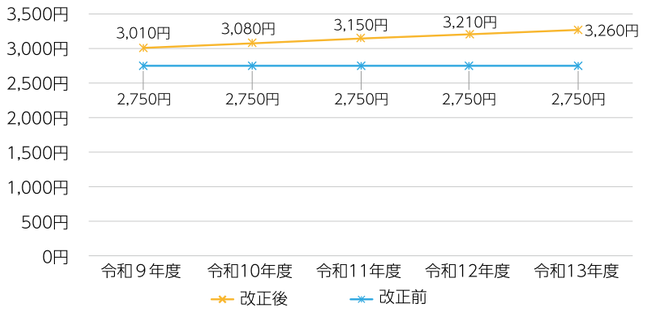
日置市給水条例の一部改正

１カ月について定める口径別基本料金と使用水量で区分する従量料金について次のように改定
（施行期日）令和９年４月１日
（料金特例）従量料金は令和10年度から段階的に改定する措置を行う※下表を参照

口径別基本料金	令和８年度	令和９年～13年度
13mm	800円	1,060円
20mm	1,100円	1,410円
25mm	1,400円	1,860円
30mm	2,500円	3,270円
40mm	3,800円	4,970円
50mm	7,200円	9,570円
75mm	14,400円	19,150円
100mm	23,000円	30,130円

▲基本料金改定表

○令和９年度以降における水道料金の推移
（13mm口径で20㎥使用した場合／月）※下表は「税抜」です。



従量料金（１㎥当たり）					
使用水量	令和９年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	令和13年度
10㎥まで	80円	83円	86円	88円	90円
10㎥を超え20㎥まで	115円	119円	123円	127円	130円
20㎥を超え30㎥まで	150円	155円	160円	165円	170円
30㎥を超える	160円	165円	170円	175円	180円

▲従量料金改定表

中央公民館及び地区公民館の管理運営の一元化に伴う関係条例の整備に関する条例の制定

（１）中央公民館及び地区公民館の管理運営体制を教育委員会へ一元化を図るため、地区公民館条例を廃止し、中央公民館条例を公民館条例へ改称するとともに、条文の整理
（２）中央公民館及び地区公民館の使用時間及び休館日を統一
（３）公民館の管理運営を指定管理者へ委託できる規定を追加



関係条例の整理については、
（１）地区公民館長の報酬規定の削除
（２）条例名称の改正に伴う条文の整理

（施行期日）令和９年４月１日

日置市火災予防条例の一部改正

排気ダクト、グリス除去装置等について、調理に伴う油脂等が付着しないよう適切に管理しなければならないことについて規定



その他５件を含む**計８件**の条例を可決しました。

どうなった？陳情のゆくえ



陳情第３号

川内原発を停止して緊急点検を求める陳情書　（提出者）西薗　典子　氏

陳情内容
１．今回の地震による甚大な被害状況や、鹿児島県内の活断層に与える今後の影響を鑑み、川内原発1・2号機の稼働を一旦停止したうえで、原子炉内部及び重要関連施設等の総点検を求めます。
２．日奈久断層帯の割れ残りによる影響が南西方向に広がり、出水、甑、市来の３断層帯でマグニチュード7以上の地震が起こる恐れがあると政府地震調査研究推進本部から出されているので、有明海の断層群と市来断層帯に挟まれた川内原発周辺の早急な地質調査とそれにともなう原発への影響調査を求めます。

反対討論　15　**不採択**　2　**賛成討論**

日常的な巡視や定期的な試験、制度に基づく原子炉・冷却系統・計測制御系統・格納施設・非常用電源設備など、定期検査を継続的に行い、安全確認をされている。
地震後も設備の点検が行われ、異常がないことが確認されている。

有明海の断層帯と出水、甑、市来等の断層帯にかこまれた川内原発の早急な地質調査と、40年を超えて老朽化が進む川内原発１号機、２号機は稼働を一旦停止し、原発の原子炉内及び重要関連施設の総点検をすることが必要であり、地震大国である日本では万が一に備えた安全対策が求められている。

陳情第４号

非核三原則の堅持を求める陳情書の提出について　（提出者）尾立　隆男　氏

陳情内容
１．非核三原則を将来にわたって堅持すること
２．核兵器のない世界の実現に向け、国際的な核軍縮・核不拡散の取組みを積極的に推進すること

陳情第４号において、陳情が採択されるとともに、国会及び関係行政庁に対して、上記事項について意見書を提出することも趣旨に盛り込まれており、添付された意見書案を参考に改めて意見書を作成し、国等へ提出することも全会一致で採択されました。

全会一致で採択

意見書の詳細は市ホームページをご覧ください

○賛否表（陳情第３号、陳情第４号、意見書案第１号）

番号	件名	賛否表（冨迫議員は議長のため、表決には参加しない）																				結果
		阿多	大川畑	山口（秀）	中村（清）	福田	長倉	下園	佐多	是枝	重留	福元	山口（政）	中村（尉）	留盛	黒田	下御領	坂口	並松	池満	冨迫	
陳情第３号	川内原発を停止して緊急点検を求める陳情書	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	欠席	×	○	×	白票	－	不採択
陳情第４号	非核三原則の堅持を求める陳情書の提出について	全会一致																				採択
意見書案第１号	非核三原則の堅持を求める意見書	全会一致																				可決

より良い市政をめざし、今回は10人が登壇

一般質問 明日を論戦!

一般質問とは、議員が年４回の議会定例会において、
市政全般について問いながら、政策提案を行うものです。
文章は本人の責任のもと掲載しています。
二次元コードより、同日に行われた
質問者全員の動画をご覧いただけます。





坂口（さかぐち） 洋之（ひろゆき） 議員

◀動画はコチラ

質問１ 第10期介護保険事業計画作成の考えは

答弁１ 2040年を見据え持続可能な介護サービス

問　高齢者が安心して暮らし、住み続けたい日置市の現状と課題は何か。

答　後期高齢者の増加に伴い介護や支援の必要な市民の増加が予測され、持続可能な介護サービス構築が課題である。

問　第10期日置市介護保険事業計画に向けた国や市の基本的な方針と考えは。

答　国から持続可能な介護サービスの計画的整備、地域包括ケアシステム等が示された。市としては中長期的な視点にたった介護サービス体制を協議する。

問　介護サービス事業所の職員の人材不足の状況はどうか。

答　介護サービス事業所アンケートによると、介護人材について適当が42.9%、やや不足と不足が52.4%である。

問　過疎地域の効率性の低い地域の訪問介護等の持続可能なサービス提供をしっかりと第10期介護保険事業計画に具体的に反映させるべきではないか。

答　本市の地域特性を踏まえた介護・福祉サービスの充実と安定した提供体制づくりに向け計画への反映を進めたい。



高齢者の介護

質問２ 介護事業所の外国人人材受け入れ状況は

答弁２ 外国人人材を雇用している事業所が40%

問　市内の介護サービス事業所で働く外国人の状況と事業所から市への要望は。

答　現在、64名の外国人が働いており、事業所連絡会の1部会では研修希望があり、前年度に研修を実施している。

問　今後、持続可能な介護保険制度構築に向けて市長の考えを伺う。

答　介護保険制度を取り巻く状況は、一層厳しさを増しており、サービス提供体制構築と地域システムに取り組む。



黒田（くろだ） 澄子（すみこ） 議員

◀動画はコチラ

質問１ 子宮頸がんワクチン接種を男子生徒へも

答弁１ 男子への接種制度化について検討する

問　子宮頸がんワクチン接種率は。

答　接種率は令和７年度48%である。

問　接種率増の手立てはどうか。

答　小６女子へは３月下旬に通知書を送付。未接種者へは、中２・高１で接種勧奨通知を送付し、また、医師による子宮頸がんワクチンの効果や接種の意義について市民講座を開催した。

問　男子への接種の必要性をどう考えるか。

答　性行為で男女を問わずウイルス感染するために、男子のワクチン接種で男女への感染を予防ができて効果がある。

質問２ ジェンダー解消で若者に選ばれるまちを

答弁２ 豊岡市を参考に第３次基本計画を実行

問　本市のジェンダーギャップの現状は。

答　令和４年度市民意識調査で「男性は外で働き、女性は家庭を守るべき」という固定的性別役割分担意識について、否定が64.2%を占めた。

一方で政治・地域社会・家庭・職場等では男性優遇が多くを占め、ジェンダーギャップ解消は取り組むべき課題である。

問　本市の男女別の若者回復率を問う。

答　豊岡市が10代で市を離れた者が、20代で戻っているかを国勢調査を基にした独自指標で、2020年調査で算出すると日置市は男性2.4%減、女性34.4%減で女性が多く戻ってきていないことになる。

問　若者の意思決定への参画推進は。

答　ひおき共創コンソーシアムで、若者と企業の直接対話を通じ、若者の価値観や意見を生かせるように取り組んでいる。



男は働き女は家を守る、根強い性別役割分担意識



福元（ふくもと） 悟（さとし） 議員

◀動画はコチラ

質問１ 農業担い手の確保は十分か

答弁１ 現在の担い手は172名で減少している

問　資材費や燃料高騰で農業経営への影響をどのように捉えているか。

答　コスト増で経営に影響がある。生産現場においては、堆肥や有機質肥料の活用による化学肥料の抑制、耐病性や高温耐性を備えた品種転換など気候変動への対応が必要である。

問　10年後の本市の農業をどのように考えているか。

答　団塊世代が離農して就農人口が大幅に減少し、耕作放棄地がさらに発生していく可能性がある。一方で、大規模農家や法人へ農地が集約され、企業型へ移行されることが予想される。

問　地域おこし協力隊制度の活用など、新たに農業担い手支援制度を考えないか。

答　農業経営体の減少を踏まえて、現制度の効果を確認している。先進地の事例を参考に検討する。



質問２ 地区館の所管変更の周知不足について

答弁２ 新しい制度をこれからも説明していく

問　議員と語る会で伊集院地域自治会長から制度の変更が伝わっていないと指摘があったが、周知は十分か。

答　自治会長連絡協議会理事会や研修会で、令和７年度に３回、令和８年度は、８月に方向性を説明してきた。

《その他の質問》

・本庁機能の分散について



福田（ふくだ） 晋拓（ゆきひろ） 議員

◀動画はコチラ

質問１　吹上浜のウミガメの産卵・ふ化状況は

答弁１　産卵数の減少や食害被害が深刻である

問　吹上浜ではウミガメの卵が、野生動物にほぼ全て掘り返されて食べられている。卵を守るための取組みは。

答　吹上浜は県立自然公園で人工物が置けないが、卵の保護のための柵等が置けるように、県と協議を進めていく。

問　海岸から卵を掘り出して、ふ化場へ移設保護する場合の課題は。

答　適切な移設保護がされているが、移設の判断や管理の負担などを、対話・連携を通じて解決したい。

問　昭和60年に旧吹上町が、全国初のウミガメ保護の条例を制定した歴史的意義を次世代へ継承しないか。

答　デジタルコンテンツとして、発信・共有できる環境を整えたい。

質問２　ウミガメ保護を日置市の地域資源に

答弁２　観光振興や地域活性化に繋げていく

問　吹上浜で生まれた子ガメが30年ほどかけて再び吹上浜へ戻ってくるように、日置市から巣立っていく子どもたちも、将来ふるさとを忘れずに帰ってきてくれると信じて、私は子どもたちと活動している。

ウミガメパトロールを通じた親子のつながりや、子どもたちの成長、ふるさとへの思いの継承に、どのような意義があると考えるか。

答　日置市で暮らす親子にとって、宝物と言える時間であり、次世代に継承されていくように、保護団体と協力して取り組んでいきたい。





山口（やまぐち） 政夫（まさお） 議員

◀動画はコチラ

質問１　洪水浸水想定区域指定への対応対策は

答弁１　消防施設への浸水を防ぐ対策を行う

問　消防署周辺は３～５ｍの浸水が想定され、非常用発電機が浸水したときの、通信指令業務用への対応対策は。

答　建物への浸水を防ぐ対策を行い、今後は大規模改修や建替えの機会に上階等への移設を検討する。

問　改修や建替えは何年後を想定か。

答　何年後とは考えていない。

問　指令室は停電時に119番を受信できるか。

答　受信できない。

問　浸水時の消防車、非常用発電機が発電できない時の消防通信の対応対策をどのように検討しているか。

答　消防通信室の電源は絶対確保が必要で、移設等各部局と協議検討を進める。

問　浸水時の救助用ボート等はあるか。

答　ボート２艘（そう）、ウエットスーツ４枚ある。

問　南及び北分遣所へも配備しないか。

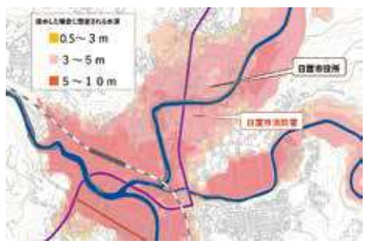
答　今後、配備について研究する。

質問２　子育て支援総合施設設置について

答弁２　現在、施設建設は考えていない

問　アンケートで、常設を望む声が多く有り、支援施設建設を検討しないか。

答　子育て支援施設建設の要望として理解しているが、第３期子ども・子育て支援事業計画に定めた８事業計画を優先して事業に取り組む。



市役所・消防署３～５ｍ洪水浸水想定図



阿多（あた） 聖弥（まさや） 議員

◀動画はコチラ

質問１　フラーゴラッド鹿児島との連携について

答弁１　地域創生の牽引役として連携を推進する

問　本市としてSVリーグへの参戦をどのように位置づけしているか。

答　市の魅力発信の強化、地域経済の活性化及びふるさとへの愛着の醸成を推進する重要な役割があると位置づけている。

問　ホームゲームが開催できない現状では、経済効果が得られないと考えるがどうか。

答　直接的な経済波及効果を最大限引き出すためには、本市でのホームゲーム開催が重要である。本市開催の実現に向けて環境整備の検討を進めていく。

問　行政負担を伴う支援を行う予定があるか。

答　現時点では具体的な構想及び計画等はないが、フラーゴラッド側から具体的な計画や提示があった場合、対応を協議していく。

質問２　オリーブ事業のこれまでの総事業費は

答弁２　13年間で総事業費２億8074万7千円である

問　オリーブ部会員の推移は。

答　直近３年間で令和５年度が81人、令和６年度が67人、令和７年度が48人。

問　直近３年間の収穫量の推移は。

答　令和５年度は4594.7kg、令和６年度は1363.6kg、令和７年度は196.2kg。

問　今後、行政としての規模縮小や見直しは検討していくべきでは。

答　将来的には市直営圃場の運営を民間に移行していく事も視野に入れて検討していく。



©FIELD-X Inc.



是枝（これえだ） みゆき 議員

◀動画はコチラ

質問１　建物火災の現状は

答弁１　令和７年は７件で減少傾向

問　伊集院地域団地内で発生した火災での通報から現場到着までの時間は。

答　８分後に放水開始。

問　火災発生時、指令室の現状はどうだったか、また大災害時はどうなるか。

答　119番回線は26回線で、そのうち伊集院地域の固定電話が２回線あるが、司令員２人のため不通状態の時間帯があった。

大災害時は、指令室職員を増員し、通信施設を最大限活用できるように努める。

問　ホースの設計寿命と本市の現状は。

答　未使用で概ね10年、使用した場合は６年～７年であり、本市の総本数300本のうち205本は10年以上経過。

各種点検を徹底し、適切な更新及び維持管理に努める。

問　住宅用火災警報器設置の啓発活動は。

答　無作為に抽出した世帯の訪問と、ホームページ・広報紙・自治会の消防訓練等で啓発していく。

質問２　学校の洋式トイレの現状は

答弁２　すべて標準サイズで洋式率は52.4％

問　幼児用便器の設置を検討しないか。

答　既存設備の構造上課題があるため、踏み台を活用して対応。

問　新１年生や支援・配慮が必要な児童生徒への対応は。

答　入学直後、児童を連れトイレでの指導を行い、教職員の見守りや声掛けと、実態に応じた個別指導を行っている。

〈その他の質問〉

・介護保険サービスへの優先移行について



義務化されている家庭用火災警報器



おおかわばた　こういち
大川畑 宏一議員

◀動画はコチラ

質問１　いじめ重大事態における対応体制は

答弁１　第一報を教育委員会に行うよう指導

問　生徒間トラブルの認知や初動体制はどのように対応しているか。

答　生徒の日々の様子の変化やアンケート調査、生徒・保護者からの相談等により認知し、事案を認知した際には第一報を教育委員会へ行うよう指導している。

問　SNSトラブルの専門家はいるか。

答　いじめ問題専門・調査委員会の中にはいないため、関連する事案が発生した場合は、委員を委嘱する。

問　いじめ被害を受けた児童生徒への支援体制はどうなっているか。

答　被害児童生徒の安心・安全な学習環境を確保できるよう、全職員で対応している。

質問２　GIGAスクール構想での端末管理体制は

答弁２　各学校に文書を配布して対応している

問　端末の故障や使用不能事案について、何が原因で壊れたのか、理由ごとの内訳をどのように記録しているのか。

答　「動作不良（自然故障）」、「落下・水濡れ等による障害」、「それ以外の状況」の３つに分類し記録している。

今後は、分類に「充電不能・バッテリー異常」も加えて、事故報告書等を修正していく。

問　使用期間中にバッテリーの劣化や深放電等で交換が必要となった場合、その費用見込みと財源をどう考えているか。

答　基本的には市の負担で対応する。現行のリース契約において自然故障やバッテリー劣化に対する保証が含まれ、保証範囲内で対応できる見込みである。



とめもり　こういちろう
留盛 浩一郎議員

◀動画はコチラ

質問１　消防団の春季・秋季訓練の目的、目標は

答弁１　実践的な技術が出来るよう対応している

問　消防団訓練を市民への防災意識向上に繋げる考えはないか。

答　現在単独で行っており、今後は自主防災組織等との訓練も検討していく。

問　県道・市道を使用し、放水等の訓練を行なっているのか。

答　公道を使用した訓練を行なっていたが、道路使用許可における交通誘導員の配置や、安全管理の制約が大きくなったため、令和５年以降は消防学校等の施設を活用した訓練に切り替えて実施している。

問　薩摩川内市では、消防団体制の再構築や機能別消防団員の活用、南さつま市では消防団組織の見直し、効率化に取り組んでいるが、これをどのように認識・評価しているか。

答　近隣自治体の状況は把握しており、本市も昨年度、全分団の聞き取りを実施。他の自治体も参考にし、消防団幹部と協議し検討していく。

質問２　リチウムイオン電池分別と排出方法は

答弁２　有害ゴミとして収集カレンダーで周知

問　発火等の件数と原因対応は

答　中間処理施設で破砕後に２件の発火が発生、施設においてサーモカメラ等による異常検知・自動消火等を施し火災防止を行なっている。

問　市民が安全に排出できるよう専用の回収ボックスを設置しないか。

答　公共施設などへの専用回収ボックスの設置は安全性を考慮し、設置希望等を踏まえ検討する。





さた　しんじ
佐多 申至　議員

◀動画はコチラ

質問１　脱炭素先行地域づくり事業の進捗状況は

答弁１　事業全体の予定額に対して約36％執行

問　オンサイト・オフサイトの違いとその実績状況を述べよ。

答　オンサイトは、発電した電気を直接施設内で消費する仕組みで、吹上地域の個人住宅16件、民間事業者13件、公共施設９件を導入。

オフサイトは、離れた場所から電気を届ける仕組みで、市の土地開発公社所有の土地に１件を導入している。

問　企業や自治体の施設等から発電されている電気は、市民の暮らしにどう反映されるのか。

答　停電時における最低限の電力確保、光熱費の削減分を原資に、介護予防の普及啓発用のタブレット整備に反映されている。蓄電池は、市役所と伊集院総合運動公園の２カ所に導入し、複数の公共施設など専用の電線でつなぎ、効率的に電気を使用する「マイクログリッド」を構築し、蓄電池の電気もエリア内の施設に共有できる仕組みになっている。



市役所本庁舎に設置されている
マイクログリッド内の太陽光発電

質問２　安心して飲むために行う水質検査は何か

答弁２　原水検査、浄水検査、残留検査である

問　本市の上水道の水を安心して飲むための水質検査は、どこでどのような検査が行われているのか。

答　水源は74カ所、配水池は67カ所あり、各水源において原水検査では大腸菌・嫌気性芽胞菌の検査を毎月、その他40項目を年１回検査する。浄水検査では一般細菌・大腸菌・臭いを含む９項目の検査を毎月、また９項目に鉄、銅、濁りなどを含む52項目を３カ月から１年の間で検査する。配水区域ごとの末端家庭では色・濁り・消毒の残留検査を毎日検査している。

議会SNSのフォローをお願いします!!

日置市議会では令和８年５月からＳＮＳでの情報発信を始めました！

議会に関する情報や素朴な疑問など、市民の皆さまへ議会を身近に感じていただけるよう、わかりやすい情報発信に努めています！

インスタグラム、フェイスブックで以下のアカウント名を検索いただくか、二次元バーコードを読み込んでいただき、フォローをお願いします！





アカウント名　日置市議会（hioki_gikai）

Instagram
（インスタグラム）

Facebook
（フェイスブック）

所管事務調査報告

日置市女性消防吏員（りいん）の就労環境の現状と課題について

調査日：令和８年７月２７日

総務企画

かつて「消防は男性の仕事」の考えが根強く、職員採用の女性受験者は少なかった。現在の女性消防吏員は５名で、将来的には９名を目標とし、熊本、福岡の専門学校や鹿児島市、日置市の高校に出向きPR活動を行っている。令和４年度に女性消防吏員の就職を想定し、女性専用の仮眠室２室、浴場及びトイレが整備され、女性消防吏員のみが知る暗証番号システムを設置。



▲女性吏員用の施設整備予定スペース



▲増築された女性専用施設

令和８年度は、南分遣所に仮眠室２室及びトイレが整備されます。国は、女性消防吏員の目標を５％と設定だが、鹿児島県内で日置市だけが5.9%とクリアしている。女性が夢と希望をもって、妊娠、出産、育児と持続可能な働く場所、環境の整備や庁舎設備改修が急務であるとともに、職員へのハラスメント研修教育を充実し職員のキャリア形成に努めている。

行政視察

本市の重要施設整備に向けて所沢市（被覆型処分場）と袋井市（PFI総合体育館）に学ぶ

調査日：令和８年７月15日～７月17日

文教厚生



▲埼玉県所沢市第２一般廃棄物最終処分場

埼玉県所沢市第２一般廃棄物最終処分場

次期最終処分場整備が急務となる本市にとって、所沢市の被覆型処分場は先進的なモデルです。屋根付き構造により雨水浸透や悪臭の拡散を防ぎ、緑地広場の併設により環境保全と市民の憩いの場を両立しています。

約26年にわたり丁寧な住民対話を重ねて合意を形成した経緯は、本市が地域内処理に向け候補地選定を進める上で極めて重要な指針となります。

静岡県袋井市総合体育館（さわやかアリーナ）

老朽化が進む本市総合体育館の建替えに向け、袋井市総合体育館はPFI事業による優れた先行事例です。民間活力の導入により柔軟な開館日設定や多彩なイベント展開を実現し、年間約20万人の高い利用実績を誇ります。

カフェや大型遊具を備えた多世代交流拠点と高度な防災機能を兼備しており、本市の複合施設整備に極めて重要なモデルとなります。



▲静岡県袋井市総合体育館（さわやかアリーナ）

【北海道白糠（しらぬか）町】地域おこし協力隊の取組みについて
【北海道釧路市】バイオマス産業都市構想に基づく取組み
【北海道弟子屈（てしかが）町】農業経営基盤強化基本構想に基づく各種事業

調査日：令和８年８月４日～６日

産業建設

白糠町では、地域おこし協力隊を活用し野菜生産等の担い手育成と、全国トップクラスの手厚い就農支援策で、３年間の研修、就農後の最大５年に及ぶ段階的な手厚い伴走支援で、着実に新規就農者が定着していた。

釧路市では、農協と連携した家畜のふん尿のバイオガス化や、下水汚泥の堆肥化などの地域資源の循環体制や、木質バイオマスの搬出のコストなど課題もあり、導入後の持続可能な維持管理体制の構築を見据え慎重な検討が必要ではないか。

弟子屈町では、農地集積率92％を誇り、新規就農から５年間を見据えた伴走型の経営・技術支援など、持続可能な農業振興に向けた多角的な取組みや、肉用牛の振興と施設園芸の推進を実施していた。



▲弟子屈町での視察光景



▲白糠町での視察光景

議会広報紙の企画・構成・編集及び特集記事の取組み
福岡県大刀洗（たちあらい）町・熊本県玉名市

調査日：令和８年７月９日～10日

広報編集



▲大刀洗町での視察光景

玉名市では、平成30年から横書き化し、苦労した点は右綴じだったためページの流れ、読む方向、レイアウトとの整合性が難しかった。改善策として、令和８年８月号から左開き（一般的な横書き冊子）へ変更。表紙は印刷会社がレイアウトを行い、企画構成や掲載内容原稿は議会事務局で作成、整理を行い、編集委員は内容確認や校正作業を行っていた。

大刀洗町では、広報委員会は４名で活動し広報紙作成の基本方針を①分かりやすい言葉②正確性③読みやすい紙面等、細かな部分でルールを明確化し、委員交代後も安定した広報作成ができるよう取り組んでいた。また、編集委員全員で、企画構成や原稿作成から編集校正作業を行っていた。



▲玉名市での視察光景

特集 令和7年度 決算審査

歳入総額 323億　207万2千円
自主財源：　92億1442万8千円（28.5%）
依存財源：230億8764万4千円（71.5%）
歳出総額 306億8870万8千円



市制施行20周年記念事業

問　予算執行率と事業の成果を問う。
答　当初予算814万5千円に対し、執行額が738万3559円で執行率90.7%である。12事業で市制施行20周年記念事業の冠を付けて実施されたことで日置市をもっと知ってもらうことができた。



日置市商工会共通商品券発行事業

問　市民への情報の浸透についての現況把握は。
答　商品券を平日に商工会で購入するため、買いづらい環境である。令和8年度はデジタル商品券を販売して検証していく必要がある。



生ゴミたい肥化処理業務委託

問　参加されていない自治会が約19%あるが、要因は。
答　毎年1自治会程度は増えているが、高齢化により日々のゴミ出しが難しくなっているとの意見もあり、このことも要因の一つと考えられる。



ひおき健やか憩いの湯事業

問　温泉券の利用が見込みより少なかった原因や理由は。
答　交付者数は令和6年度より85名増えているが、200円券×10枚の温泉券は利用しづらい面もあったことから、100円券×20枚に改善した。



伊集院文化会館の懸案事項

問　今後の在り方、方向性をどう考えているのか。
答　財政所管とは状況確認や意見交換を逐次行っている。
問　結論を出すリミットを決めてはどうか。
答　これまで5年間の指定管理期間を3年間としているので、この期間を検討期間と捉えている。



学校給食費保護者支援事業交付金

問　交付金の内容と今後について伺う。
答　小学校はひと月当たり1400円、中学校は1450円となっており、交付金で補填している。今後も給食費の補填は続けていく考えである。



公営住宅使用料

問　保証人等をつけて入居させ滞納時の納付を促進しているが、未納者が減っているように感じないが、対策は。
答　家賃債務保証法人が保証人になれるように整理をしたため、予防策として早めの対応ができると考えている。

有害鳥獣捕獲事業

問　不用額が大きく、見込みが甘かったと考えるが、どう捉えているか。
答　早期米の時期を考慮して、中山間地域を中心に積算して計上した。侵入防止柵については必要なものと捉えているため今後も継続していく。

令和7年度　一般会計・特別会計の決算認定額と採決の結果

（議長は表決に参加しない）

区分		歳入決算	歳出決算	差引	採決の結果
一般会計歳入歳出決算		323億207万円	306億8870万円	16億1337万円	全会一致で認定
特別会計	国民健康保険　歳入歳出決算	55億8553万円	55億8538万円	15万円	
	健康交流館事業　歳入歳出決算	1億4366万円	1億4366万円	0万円	
	温泉給湯事業　歳入歳出決算	506万円	452万円	53万円	
	介護保険　歳入歳出決算	57億364万円	54億5186万円	2億5178万円	
	後期高齢者医療　歳入歳出決算	9億7649万円	9億7157万円	491万円	
水道事業会計決算		9億5308万円	9億1269万円	4039万円	
下水道事業会計決算		7億9477万円	5億8059万円	2億1417万円	

※決算額は、1万円未満を切り捨て掲載しているため、額が一致しない場合があります。

事業によっては、年度末まで確保する予算もあるが、不用額については、その見極めを早めに判断し、市民サービス事業への流用もできると考える。
引き続き重要視していきたい。



決算審査特別委員長
佐多 申至

議員と語る会を開催しました

令和8年7月30日、31日

議会の広聴活動の一環として、地域に出向き直接市民の方々の声を聴き、市政に反映させるために語る会を開催しました。今回は、妙円寺団地の２団体の方々から公共交通や道路に関することなど日ごろの生活の中で感じていらっしゃる意見や要望を頂きました。一部をご紹介します。

団体1



バスの運行について

・現在のバスは、１日５便程度で、市役所や病院へ行くには不便である！
・日曜、祝日は運休のため、休日のイベントに参加しにくい！
・コミュニティバスが廃止されたことに不満である！

ごみステーション・ごみ袋について

・網型のゴミステーションはカラスに狙われやすいので、箱型にしてほしい！
・なぜ生ごみを分別？　・なぜごみ袋が有料？　・なぜごみ袋に名前を？

交通安全について

・団地内でスピードを出す車があり危険！
・歩行者、とりわけ高齢者の安全確保のため横断歩道の設置を！

その他

・市営住宅の階段に手すりを！　・中央公園のトイレ・ベンチの早期改修を！

団体2



公共交通について

・乗合タクシーが使いづらい！
・福祉バスについて、利用範囲を広げてほしい！

交通安全について

・道路の横断歩道や文字が消えて見えにくい！

環境整備について

・敷地外に草木が繁茂しているところがあり、適切な管理を！
・道路の花壇について花を植える時期に配慮を！
・妙円寺地区館駐車場の車止め、足が引っ掛かりやすく危険！
・妙円寺地区館駐車場が夜間暗く危険！

その他

・公民館講座や各種活動に関する申請など、行政手続のペーパーレス化を！
・ガソリン価格について、日置市内と市外で価格の違いがあるのはなぜ？
・妙円寺の住宅供給公社の共同アンテナの共益費の具体的な内訳を知りたい！

今回皆様から頂いたご意見やご要望は、市の担当部署や関係機関と情報共有し、改善が可能なものについては、具体的な対応を求めていきます。

議員定数等調査特別委員会中間報告

市議会では、昨年の６月議会において議員定数等調査特別委員会を設置し、議員の定数や報酬、議場のバリアフリー化などを協議しています。
今回は協議の途中経過について、お知らせします。

報酬等審議会※の開催を依頼！

『全国の市議会議員の定数や議員報酬調査結果』の中で、「人口４万人以上５万人未満」の自治体88市や県内17市（鹿児島市を除く）の状況を参考に協議を進めてきました。また、市内の各種８団体の代表者合計22名の皆さまと意見交換会も開催しました。
その中で、合併後20年間議員報酬の改定がなかったことに驚かれ、報酬の改定が無ければ、若い世代が議員を目指すことは難しいとのご意見もいただきました。物価高騰が続く中で、少しでも若い世代が議員へ立候補できるよう、議員報酬等の改定について協議を重ねています。
このようなことから、市長に対して報酬改定に向けて、審議会の開催を依頼しました。



※報酬等審議会とは…
市長の諮問に応じて特別職（市長、副市長、教育長、議員）の報酬等を審議する会議体です。今回の場合、この審議会で議員の報酬について審議されるよう、市長へ依頼したということになります。

議場のバリアフリー化を要望！

2006年に施行された、バリアフリー新法は、高齢者や障害者を含む全ての人が安全かつ円滑に、施設を利用できるよう環境の整備を行うことを目的として制定されました。
現在、車椅子を利用する議員はいませんが、バリアフリー新法を念頭に置き、不慮の事故等で車椅子を利用しないといけない状況になっても、使用できる議場にする必要があります。
また、これまでの議員定数削減による議員席側の空席の増加、執行部席では、予備椅子を設置しなければ議会に出席できないなどの現状であります。
さらに、他市町村では多目的利用も増えていることを踏まえ、

１　議員席の一部と演台周辺の段差をできるだけ早期に解消すること。

２　可動席・可動机にするなど効率的かつ、多目的に利用できるようにすること。

この２点を要望しました。

第86号の表紙

『サッカーフェスティバル』

転んでもすぐに立ち上がり、ゴールを目指してひたむきに走る姿は感動を覚える。コーチの指示を受け、いいプレイの後仲間とハイタッチを交わすキラキラした笑顔、未来のＪリーガーを夢見てスポーツの純粋な楽しさが満ちあふれていました。

ベンチと観客席からは、割れんばかりの歓声と拍手が沸き起こり会場の熱気は最高潮へ。

目指せ日本代表!!



次の12月定例会スケジュール

※日程は、都合により変更になる場合もありますので、ご了承ください。



日	月	火	水	木	金	土
11/22	23 勤労感謝の日	24	25 本会議 （初日）	26	27	28
29	30	12/1	2	3 本会議 （一般質問）	4	5
6	7 本会議 （一般質問）	8 委員会 （条例・補正予算）	9	10	11	12
13	14	15 予算審査 特別委員会	16 議会運営 委員会	17	18	19
20	21	22	23 本会議 （最終本会議）	24	25	26

編集後記

本年は西郷隆盛生誕200年（2028年）・没後150年（2027年）に向けたカウントダウン期間です。

10月25日は熱気あふれる「妙円寺詣り」が行われます。大河ドラマ（西郷どん）の第１話が放送された中で、西郷どんも歩いて参拝したと紹介されました。

鎧武者の凛々しい姿や、妙円寺詣りの歌を歌いながら各学校の武者行列が街中を練り歩く姿を見ていると、胸中に湧き上がるものがあります。伝統行事の熱気にあやかり、私たちも力強く秋を駆け抜けていきましょう。

朝晩冷え込む日も増えてきますので、皆さま体調を崩さぬようお過ごしください。

（山口　秀人）

《発行責任者》
議長　冨迫　克彦
《広報編集委員会》
委員長　佐多　申至
副委員長　山口　政夫
委員　並松　安文
〃　福元　悟
〃　重留　健朗
〃　長倉　浩二
〃　山口　秀人
〃　大川畑宏一
〃　阿多　聖弥

2026年11月　発行／日置市議会　編集／議会広報編集委員会　〒899-2592　鹿児島県日置市伊集院町郡一丁目100番地　TEL.（099）248-9435　FAX.（099）273-3063　https://www.city.hioki.kagoshima.jp